

平成29年4月13日

大阪大学箕面地区教職員組合執行委員長 殿

外国語学部長 東 明彦
言語社会専攻長 大内 一
〔公印省略〕

大阪大学箕面地区教職員組合からの要望について（回答）

平成29年3月10日付けで要望があった件について、下記のとおり回答します。

記

1. 休日勤務状況の改善について

1) 言語文化研究科言語社会専攻および日本語・日本文化専攻の入試日について

言語社会専攻および日本語・日本文化専攻の入試は、言語文化研究科全体の入試として、言語文化専攻の入試と同日程で行うことを前提にしています。前期課程夏期入試については、社会人入試を考慮して平日入試が困難であると考えています。また、前期課程冬期試験と後期課程試験については、学部入試（個別学力試験）の準備時期を考慮すると2月中旬までに実施する必要があり、年度末の授業・期末試験・卒論試験等で煩瑣な平日に大学院入試を実施することは種々の混乱や重大なミスを招く恐れが大きく、平日の実施はやはり困難と考えています。前者は豊中の執行部と調整した結論、後者は箕面の執行部と教務事務方とで相談して出した判断です。

なお、いずれも、所定休日に勤務し、その勤務時間が就業規則に定める所定労働時間未満となる場合については、休日勤務として取り扱っております。

また、裁量労働制を適用される教員等につきましては、勤務を命じられた場合には、健康・福祉確保の観点から十分休養できるよう、その勤務時間が所定労働時間未満となる場合であっても休日の振替を行うことができることとしておりますので、念の

ため申し添えます。

宜しくご理解下さいますようお願い申し上げます。

2) 外国語学部オープンキャンパス

オープンキャンパスは、毎年、カレンダーや学年暦を勘案して決めています。来年度以降、学事暦（新学事暦では、補講期間は設定されていません）のほか、集中講義期間の授業開講予定数等を見極めた上で、最も適切な日程での実施を検討いたします。

3) 外国語学部編入学試験

3年次編入学試験は、志願者が「3年次」へ編入する要件を満たしているか、また十分な学力を有しているかを判定することを目的としており、夏季休業中の早期実施はむずかしく、秋学期以降に行う必要があります。

一方、授業がある平日の実施は、教員の授業担当との関係で困難であり、また年末年始の実施 [例えば、平成29年度の冬期休業は、12月27日～1月3日] は、入学試験の準備作業や事後の入試業務、想定外の事態に対する対応等の観点から、混乱やミスを避ける意味でも、やはり困難です。

以上の点、ご理解下さいますよう、宜しくようお願い申し上げます。

2. 新キャンパスにおける組合事務室の確保について

本件は、部局としては回答できない内容であり、大学本部にご確認いただきますようお願い申し上げます。